## 新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹 表紙イラスト こみね さおり



第18号

## こんなものも作れます

写真の品物は、「若葉台東中」産ヤマモモの実で作った「ヤマモモゼリー」です。制作者は、小林 真佐子 先生です。お味はと言いますと・・・これが「とっても美味しゅうございました」といえるほどの逸品だった

のです。「これぞ東中ブランド!」です。どうですか?みなさん、ゼリー作ってみたいと思いますか。小林先生のお話によると、制作時間は1時間ほどだそうです。ゼリーを作るために大切なのはヤマモモの実の確保です。既に、実が熟してだいぶ落ちてしまい、改修工





事も始まりました。作ろうと思った人は、来年、再挑戦ということになるでしょうか。しかし、生徒の皆さんの中でも、自分で気づいてヤマモモの実を取ってきてくれた人もいます。よく気が付きましたね、わかばタイムで使いたいと思います。見事に自然からの贈り物*GET*です。みなさんも、興味を持って自然環境を見渡す目を持つことを忘れないようにしましょう。きっと良いものやおもしろいものが見つかりますよ。



梅雨も明けていよいよ本格的な 夏到来です。「東中とんぼ池」にも 新しい仲間がやってきました。こ

こで紹介しておきたいと思います。最初に、 皆さんもよくご存じのシオカラトンボに似 ていますが、ちょっと違うトンボを紹介し

ます。名前は、オオシオカラトンボといいます。シオカラトンボと同じでシックなブルーの出で立ちですが、胴体が太くて大柄に見えます。写真に写っている個体は♂(オス)のようです。縄張りを構えて、メスを待っているのでしょうか。見晴らしの良い場所で辺りを警戒していました。次に紹介するのは、ショウジョウトンボ

です。このトンボは目にも鮮やかな深紅 の衣装を、全身にまとっています。 ショ



とんぼがやってきた

## 農園作業について

本格的な夏を迎え、作物も生長していますが、同じように作物以外の植物も活発に育っています。わかばクラスの皆さん。**夏休み中の除草計画**は立ててありますか。夏休み中に畑が草だらけになってしまわぬよう、今から除草を心がけて下さい。畑は、皆さんの意思で始めたものです。最後まで責任を持って取り組んで下さい。

ウジョウは漢字で「猩々」と書き「想像上の真っ赤な動物」と言う 意味もあるそうです。その名が示すとおり、赤色の美しいトンボで す。よく目立ちますので、皆さんも「とんぼ池」を訪れて、ぜひ、 実物を観察してみてください。

## うれしいことがありました!

- ・ヒメダカすくいを手伝ってくれる人がいました。
- ・倒れたトマトを支柱にくくりつけてくれる人がいました。

みんな、自分から申し出てくれました。